

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	第2回ふじみ野市生きがい学習推進計画審議会 会議			
開催日時	令和4年9月16日(金) 開会時刻 14時 閉会時刻 15時15分			
開催場所	市役所本庁舎3階A301号室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
		朴 淳香	副会長	神木 重浩
	会長	大久保 昭男		石橋 裕
		塩野 悦子		大川 正
		岩城 英隆		松本 健治
会議の議題	(1) 市民アンケートについて (2) 団体アンケートについて			
会議の公開又は非公開の別	公開・非公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	資料1 生きがい学習に関するアンケート調査票 資料2 市民アンケート調査票 比較表 資料3 生きがい学習に関する団体アンケート調査票（施設利用御団体） 資料4 団体アンケート調査票（施設利用団体）比較表 資料5 生きがい学習に関する団体アンケート調査票（PTA・自治組織）比較表 資料6 団体アンケート調査票（PTA・自治組織）比較表 資料7 アンケートの電子回答画面イメージ 参考資料 生涯学習に関する市民アンケート調査報告書			
事務局	市民活動推進部協働推進課			

議事の確定	確定年月日	令和4年10月19日
	記名押印 又は署名	役職名 ふじみ野市生きがい計画推進計画審議会 会長 大久保 昭男 ㊟  ※自署の場合は、押印不要です。

発言者	発言の要旨
事務局	1 開 会
大久保会長	2 挨拶 《会長挨拶》
大久保会長	3 議事  議題（1）市民アンケートについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	《資料説明》
事務局	<p>本日欠席の委員から、性別を尋ねる設問について、アンケートの集計後の分析に有効であるならば、残してもいいが、使わないのであれば、なくしてもよいのではないかという意見をいただいています。</p> <p>このことについて、現段階の考えをお話しすると、内閣府のジェンダーに関するワーキンググループで、8月に意見がまとめられており、9月にホームページに掲載がされています。内容は、自治体が行う調査、国民の世論に関する調査などに関して、性別を尋ねる問を削るのはまだ拙速ではないかという意見であり、政策立案に関するものについては、性別を聞く問いを残しても良いという内容です。注意点としては、尋ねることに対して、心理的な負担があるかもしれないので、尋ね方について注意をするようにと記載がありましたので、設問、尋ね方については注意を払いたいと思います。</p> <p>もう1点、質問項目が前回のアンケート調査より多くなっています。依頼された回答者が、質問数が多いため、回答してもらえない可能性について、ご意見をいただいています。</p> <p>全体の設問数につきましては、委員の皆様から意見をいただき、それを踏まえて考えたいと思います。</p>
大久保会長	<p>事務局からの説明がありましたので、質疑に入りたいと思います。</p> <p>性別につきましては、ここで議論することではなく、事務局</p>

	に判断を委ねるという事でもよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
大川委員	資料2にある評価指数とはなんのでしょうか。
事務局	現行計画の基本目標の大きな3本柱を立てる際に設けた設問となります。①生涯学習活動に取り組んだ人の数、②学びの成果の地域還元、③団体活動への参加、こちらを評価指標としています。今回のアンケートでもその指標、数値が前回とどう変わっているかを比較するための設問となっています。その設問について、分かりやすいように○をつけています。
石橋委員	「【Fで「2」～「5」を選んだ人におうかがいします】G. あなたと一緒に住んでいる人について、次の中からあてはまるものはどれですか」と設問について、1人の人がいくつも回答するケースも出てきます。回答者によっては、選択肢に迷ってしまう。どのような洗い出しのために、この設問を設けているのでしょうか。
事務局	この設問を設けたきっかけは、親と子からなる世帯の捉え方が様々あり、子どもがいるのか、自分の親がいるのかの2パターンが出てしまう。その詳細を聞くことで、小さい子どもがいるから生きがい学習ができていないのか、高齢の親を介護しているから生きがい学習ができていないといった分析への活用ができると思っています。
神木副会長	アンケート調査を自分でやってみたところ、冒頭にお話あったように市民アンケートの設問数は多いと思いました。団体アンケートはある程度内容がつかめました。市民アンケートは資料として必要な項目なのはわかりましたが、項目はちょっと多いかなと感じた部分がありました。
大川委員	資料2の「問10 行政が市民の学習や活動を支援するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。」の設問で「行政」が外れて自由記述となっています。自由記述は非常に書きづらいです。団体アンケートでも同様に外れています。何か理由があるのでしょうか。

事務局	<p>新しいアンケートの問12で「ふじみ野市が生きがい学習を充実させ、盛んにするためには、どのような取り組みが大切だと思いますか。」という設問を設け、選択肢で回答できるようにしました。問13については、問12で書ききれないことについて自由に答えていただく形としました。</p>
大川委員	<p>団体アンケートも同じでしょうか。</p>
事務局	<p>同じです。</p>
大久保会長	<p>「3 現在の生きがい学習について」の質疑をお願いします。 「問4-(5) あなたが、生きがい学習に取り組んでいる時間帯はいつですか。」という設問の選択肢について。平日だと、午前、午後、夜間となっていますが、人によっては時間に限らず「いつでも可能」という選択肢を設ける必要はあると思います。人によっては時間に縛られずにやっていることもあると思います。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、選択肢については、回答しやすいように検討させていただきます。</p>
石橋委員	<p>「問4-(2) あなたが、生きがい学習に取り組む目的を教えてください。」という設問の「選択肢3 高度な専門的知識」と「選択肢7 知識や技能」の差について。例えば、ピアノや楽器では、「高度な技能や専門的知識」という表現をするので、選択肢3は「高度な専門的知識や技能」としたらどうか。</p>
事務局	<p>修正させていただきます。</p>
大久保会長	<p>「問4-(8) 新型コロナウイルス感染症拡大の前後で、あなたの活動全般に変化はありましたか。」という設問ですが、こういう設問は設ける必要があります。 「問4-(9) あなたは、生きがい学習で学んだ知識や技能、経験をどのように役立てていますか。」という設問が、非常に重要になってきます。教育基本法第3条で、生涯学習が社会のなかでどういう風に評価されていくのか、評価していきのかが明確に条文に位置付けられています。学んだことは学びっぱなしではなくて、社会に生かせる、そういう仕組みが行政サ</p>

<p>松本委員</p>	<p>イドに作られていく必要があると明確にされています。そのあたりを考えて、大事なのは、学んだことが評価されるしくみがどうなっているのか。それを抜きにしては、この設問はないと思います。評価がどのようにされていくのか。生涯学習の評価は基本、自己評価になるので。</p> <p>スポーツ推進をされており、新しいニュースポーツを学び、地域の自治会や町会に持って行っていきます。そういったことも盛り込んでもらえれば。町会等に新しいことを進めていく、これはどこかの設問に当てはまるでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ニュースポーツなどを広めていくとなると、地域活動の一つになると思います。「問9－(1) あなたは、生きがい学習の成果をどのように生かしていきたいと思いますか。」という設問において、「選択肢6 地域での伝統行事やスポーツ指導」という選択肢を設けています。</p>
<p>大久保会長</p>	<p>「4 今後の生きがい学習について」の質疑をお願いします。</p> <p>問5－(3)の設問本文が「どのような方法で」ではなく「どのような方法が」の方が意味が通りやすいです。直すのであれば、「生きがい学習に関する情報の収集はどのような方法が得やすいですか」に修正してもらいたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>そのように修正させていただきます。</p>
<p>石橋委員</p>	<p>問5－(3)の選択肢にツイッターやフェイスブックなど企業名が出ていますが、よいのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>確認させていただきます。</p>
<p>朴委員</p>	<p>問5－(3)の選択肢2の中のホームページと選択肢6の中のインターネットについて、いずれもWebサイトとして、わざわざ分ける必要はないのではないのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>趣旨としましては、選択肢2は自治体が発信しているもの、選択肢6は自治体以外の一般企業や個人が発信しているものを想定しています。回答いただく際に混乱を招かないよう、整理します。</p>

大久保会長	<p>今回 2 回目の策定となります。前回打ち出した施策に対する市民の満足度はどうなのでしょう。つまり、施策を出しているの、それに対して市民の方はどう評価しているのかを確認する設問が、今回の調査にはありません。</p> <p>例えば、生涯学習の取組みの満足度と重要度についてお答えくださいとして、公民館やふれあいセンターなどの身近な施設について満足なのか、やや満足なのか、普通なのか、やや不満なのか、不満なのか。今後の重要度というのは、どういうことをやってもらいたいのか、重要なのか、やや重要なのか、どちらとも言えないのか、5段階に分けて○をつけてもらう方法はいかがでしょう。</p> <p>そういう設問を設けることで、今までの施策の課題が浮き彫りになり、どの部分が今後大事なかが分かります。計画策定も2回目になれば、今までやってきた部分はどうかという視点が必要になってきます。</p>
事務局	検討させていただきます。
大久保会長	<p>「5 オンライン学習について」の質疑をお願いします。</p> <p>オンライン学習に関する施策は各自治体で整備が求められています。</p>
塩野委員	<p>「問6 オンライン学習をしたことがありますか。」という設問文が気になりました。オンライン学習は相手がいなくてできないことから、「したことがある」よりも「参加したことがありますか」のほうがわかりやすいのではないのでしょうか。</p>
大川委員	<p>用語解説文の最後にある自宅で YouTube を利用して、子育て解説動画を見た場合、自分だけで学習することになる。オンライン学習を参加型としてしまうと、こういったのが抜け落ちてしまうのでは。</p>
事務局	<p>オンラインを通じて参加したのか、いつでも見られる状態の所に自ら見に行っているだけなのか、というところの違いはあると思います。文言を整理させていただきたいと思います。</p>
大久保会長	「6 学び直し」に入っていきます。

<p>朴委員</p>	<p>学び直しの説明について。学び直し（リカレント教育）について、学び始めも、学び直しのなかに含まれるのではないのでしょうか。含まれるとすると、公民館などで新たに学び始めようとする人たちも、ここに該当するのでしょうか。</p>
<p>大久保会長</p>	<p>リカレントには、反復、循環、回帰するという意味があります。社会人として働いていたが、学ぶ機会を得たので、会社に休暇をもらい半年ほど大学に通う、専門学校に通うことが、いわゆるリカレント教育となります。</p>
<p>朴委員</p>	<p>繰り返し学ぶことなのですね。</p>
<p>大久保会長</p>	<p>大学や専門学校などでかなり専門的な知識をさらに吸収しないと、これからの時代やっていけないという背景があります。リカレント教育は公民館で講座を受けてというものではありません。この設問はリカレントを意識した形となるのでしょうか。基本的に市独自でリカレント教育はできません。国が制度を作ってやっていくべきこと。大学の公開講座は、これの一環です。あくまでも学び直しという文言をどう考え、意向を把握していくのかという設問になると思います。</p>
<p>朴委員</p>	<p>同じ講座（以前に受講したことのある講座をもう一度受講する）に参加することが学び直しと受け止められてしまう。具体的に学ぶ場所などを入れてもらいたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>学び始める、仕事してから学び始める人たちについて、私たちは学び直しととらえていましたが、一度学んだことを再度学ぶことを学び直しととらえる人もいるかもしれません。こちらの説明文につきましては、もう一度整理したうえで、わかりやすいように修正します。</p>
<p>大久保会長</p>	<p>学び直しの定義について書いてありますが、この部分を誤解のないように修正してもらいたい。</p>
<p>大久保会長</p>	<p>「7 地域活動について」に入ります。新たに設けたのが問 12 になります。特に問題ないということで、よろしいでしょうか。</p>



大久保会長	続いて、議題（２）団体アンケートについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	《資料説明》
大久保会長	団体アンケートについて、質疑をお願いします。
大川委員	前回アンケートの「問２ ふじみ野市が推進してきた学習支援や活動支援について、これまでの取り組みをどう評価しますか」という設問が今回外れており、それに代わる質問項目が見当たりません。事業の評価についてどのように考えているのでしょうか。
事務局	今後について尋ねることに重きを置くことから、事業の評価について尋ねる設問は外しました。しかし、先ほども議論があった通り、第２期計画として、第１期計画に対して市民がどう評価するかという点について、残した方がいいのか、検討します。
大久保会長	資料７について説明をお願いします。
事務局	市民アンケートの Web 回答のお話をさせていただきます。前方には、お手元の資料７と同じものを映しております。（プロジェクターを用いて投影）
塩野委員	「選択肢 その他」の文字数に決まりはあるのでしょうか。また、残り時数を表示できるのでしょうか。
事務局	システムで対応できるのかどうか把握しておりませんので、確認させていただきます。
朴委員	回答フォーマットの通し番号に調査票の設問番号が併記していますが、順を追うごとにこの２つの番号がずれていくのでわかりにくいなと思いました。
委託業者	Microsoft Forms では、回答フォーマットの通し番号を削除することができませんでした。他にも Web アンケートフォームはありますので、検討させていただきます。

朴委員	Web アンケートでは回答の所要時間の表示や回答の進捗状況をインジゲーターで示すことは可能でしょうか。
委託業者	回答の所要時間が分かれば、時間に余裕があるときに回答しよう、ということになります。アンケートの題目下に調査の概要や回答の所要時間などを入れることはできます。インジゲーターの表示につきましては、システム上、可能なのか確認をします。
事務局	紙の調査票のように、「生きがい学習とは」や「オンライン学習とは」といった説明文を入れることはできますか。
委託業者	入れることはできます。 しばらくの間、このサイトにアクセスできるようにしていますので、ご覧いただければと思います。
大久保会長	設問は4問のみなのでしょうか。
事務局	本日は、サンプルとしてお示しさせていただきました。本番は、お手元の調査票の内容がそのまま載ることになります。
大久保会長	本日の議事は以上で終了となりますがよろしいでしょうか。 本日いただいたご意見は、なるべくアンケートに反映し、次回の会議で、調査票の最終確認をしていただきます。
事務局	4 その他 《事務局より次回会議の案内》  5 閉会